

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2018年 2月 23日

東京大学での所属学部・研究科等:	法学部	学年(プログラム開始時):	学部4
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	パリ政治学院
卒業・修了後の就職(希望)先:			
	1. 研究職		2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
	3. 公務員		4. 非営利団体
	✓ 5. 民間企業(業界:コンサル)		6. 起業
	7. その他()		

派遣先大学の概要

パリ政治学院は、数多くのフランス政財界の要人を輩出し、社会科学分野では世界的に知名度のある大学である。アカデミックなレベルの高さ以外にも、文化の集積地たるパリ中心部に位置し、世界中から国際色多様な学生を受け入れているため、留学先としても非常に人気のある大学の一つでもある。

留学した動機

学部4年の冬学期を過ごすにあたり、これまで東大で得た学びを深化させたいという思い、またヨーロッパ地域への興味やアフリカ地域への関心など総合的に考慮し、パリ政治学院での1学期間の留学を希望した。社会科学分野で有名な大学は数多くあり、本学において主体的に学習していくことも選択肢として考慮したが、ヨーロッパ地域の経済や社会統合についての概観が得られ、また同時にアフリカ地域に関する授業を受講したいという思いもあったことから、最終的にはパリ政治学院のみに出願することとなった。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2017年	学部4	年生の	夏	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2017年	8月~	2017年	12月	
	学部4	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2017年	学部4	年生の	W	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2017年	学部4	年生の	6月頃に	行った
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位			94	単位
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位			0	単位
	留学後の取得(予定)単位			94	単位
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2014年	4月入学	2018年	3月卒業/修了	
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	4年		0ヶ月間		

⑨留学時期を決めた理由:

多くの同級生が留学するのは学部3年の秋から1年間ということになるだろうが、個人的に進振り後すぐに留学に行き学ぶことへの意義をあまり見出せていなかったため、興味はあったもののそのタイミングでの留学は行わないこととした。3年終了時に卒業に必要な単位を大方取得し、4年生後期に大きく時間ができると考え、改めて4年後期からの留学を検討するに至った。

留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

基本的に相手方の案内に沿って手続を進めていけばよく、非常に楽だった。パリ政治学院は多くの留学生を受け入れるためか、手続は非常にスムーズに進んだように記憶している。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

フランス大使館は東京にあり、ビザ取得も容易だった。入学許可の書類を受け取り次第申請が可能になるのでなるべく早く行った方がよい。ビザ申請は予約が必要だが、ある曜日だけ交換留学生は予約なしで申請可能になっていたのもその曜日に大使館を訪れるとよい。余談ではあるが、就職活動と並行して留学の準備を進める場合この時期は忙しいかもしれない。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

先進国で医療体制も十分すぎるほど整っているため特別準備は必要ではない。現地で発熱した際は日本語のできる医師を受診したため、どちらかという保険関係の書類を確認して持っていくことの方がはるかに重要だった。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

東大指定の保険を利用した。一度医者にかかることがあったため治療費を支払わずに済んだ。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

単位振替申請は行わなかったが、留学決定後学部にて面接があった。また、帰国後4Aセメスターの試験を受験できる場合があるため、教務係に相談した。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

大学1年生時に受験したTOEFLスコアの有効期限が切れてしまうため、3年生冬に再度TOEFLを受験した。英語についてはTOEFL90程度あれば良く、留学前に特別な準備はいらなかった。一方フランス語はB2レベルないとフランス語での受講は難しいと聞き、現地でフランス語の授業を受講するに留めた。生活する上でフランス語は必ずしも必要でないが、留学生活を楽しむ上で語学力があるに越したことはない実感した。

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

大量の日本食を持ち込んだが、お金さえ払えば様々な日本食材を入手できるため無理して持っていく必要はないかもしれない。医薬品はないので常用するものがあれば持参する必要があるだろう。ただ解熱鎮痛剤などはフランスのものがしっかりあり、医療機関もきちんとしているのでそこまで案ずる必要はない。

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
Economics of the European Union	10				
People & Places: Art and Nation in Great Britain	5				
Social Policies in Europe	5				
China's African Policy	5				
French	5				

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

東大の教授法とは全く異なっており、慣れるのに時間はかかった。どの授業でもリーディングが課されたのが印象的だが、リーディングの量は授業によってまちまちで一般化は難しい。授業自体も発言が求められることが多く、英語で授業が行われているため発言するのが自明に大変だった。また、少人数授業も多かったが、50人以上の大人数の授業も意外と多くあり、話に聞く海外大学のイメージとは少々異なっていた。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

週に7コマ、14時間履修しており、曜日を月曜から水曜に固めたこともあって慣れるまでは苦勞した。予習に多くの時間を割いており、長いリーディングがあると週末がなくなってしまうこともあった(英語能力に依存するのだろうが)。また、学期後半は試験やレポート提出も増え、それらの準備に時間を費やすこととなった。

④学習・研究面でのアドバイス

英語を読む能力はある程度身につけていると思うが、英語でアカデミックな論文を書く経験は殆どなく、苦勞した。とりわけ筆記試験のある科目では短時間で正確に回答することが求められるため難しく感じた。また、大学内にスペースが限られている上、大学まで遠かったこともあり、適切な学習環境を見つけるのも苦勞した。

⑤語学面での苦勞・アドバイス等

英仏どちらもネイティブでない留学生は会話に苦勞していた印象がある。パリ政治学院に留学する学生はバイリンガル・トリリンガルが多く、その中で議論やプレゼンテーションを行うのは苦勞した。友人との交流を通じて徐々にスピーキング・リスニング能力は身に着いた。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

パリ政治学院には寮がなく、滞在先の確保には苦勞した。学校のウェブサイト上で物件を仲介(あくまで仲介なので、交渉に関しては自ら家主と行う必要がある)しているのそこらから主に探していた。結果的に11区Bastilleにある家の一部屋を間借りするホームステイ形式に落ち着いた。家賃は600€/月とパリ中心部としては安く、交通至便な地区に位置していたためおおむね満足できた。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

気候は日本よりやや寒い程度。大学周辺は高級住宅街にハイブランドが並ぶ地区で学生街という雰囲気からは程遠い。メトロやバスなど交通網は充実しており、多くの学生は定期のようなものを購入していたが、私はVelibというシェアバイクを利用していた。一年で30€程度で非常に安かったと記憶している。食事は物価の関係で自炊中心になるだろう。フランスはクレカ社会であり、家賃は日本から現金を持って行ったが、生活費はクレカ支払いにしていた。さらに現地銀行のCarte bleueも作りそれ以降はほぼキャッシュレスの生活を送っていた。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

治安は頗る良い。サンドニ周辺など良い噂を聞かない地域もあろうが、日常生活において身の危険を感じたことはない(用心にこしたことはないだろう)。医療機関については日本語対応の病院があり、一度発熱した際に受診した。日本語でなくても、英語対応の医療機関は多い印象。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

家賃600€、食費が大体40,000円ほどだったと記憶している。その他旅行や外食などで余分な出費はあった。

・留学に要した費用総額とその内訳

総額は定かでないが、恐らく50万円から60万円程度でないか。航空券はOPENの往復(JL直行便)で18万円、期間的にFIXは購入できないと思うので20万円はかかるだろう(CAが12万円台のものを出していたような気がするが、PEK2,3時間トランジットの時点で常識的な人間は購入を躊躇うはず)。

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

東大からFung Scholarship(月額10万円)とSciences Poの奨学金(2,000€)を受給した。

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

週末や休暇(mid-term)は主に旅行に費やした。ヨーロッパ地域への関心が高かったこともあり、パリ以外の多様な地域を実際に目で見ることは重要であろうと考えたからである。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

数多くの留学生がおり、サポートはおおむね問題なかった。校内では英語も通じるので、フランス語が全く話せなくとも困ることはないだろう。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

図書館は多くの人が書いているように狭く、学習スペースを探すのに苦労する。食堂も同様。PCも十分な台数があるとは言えず、都市型キャンパスの弊害であるように感じた。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

特にない。留学準備期間と就職活動期間が被ると面倒だろうとは思う。

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- | | |
|--|--------------------------|
| | 1. 研究職 |
| | 2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) |
| | 3. 公的機関(機関名:) |
| | 4. 非営利団体(団体名又は分野:) |
| | ✓ 5. 民間企業(企業名又は業界:コンサル) |
| | 6. 起業(分野:) |
| | 7. その他() |

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

まず、東大とは大きく異なつたスタイルで学習できたことそのものが興味深く、貴重な経験になつたと感じている。教授言語の違いもあるが、予習の多さや議論形式が中心となる授業は新鮮に感じた。また、授業で扱われるテーマも多種多様であり、駒場時代を彷彿とさせるものがあった。また、世界各地から集まる学生たちと交友関係を持つことができ、刺激的でもあった。総合的に留学そのものは刺激的・チャレンジングであるとともに、楽しく、興味深い経験となった。

ただ、個人的には学部生での交換留学のコストパフォーマンスの悪さに疑問を抱くこともあった。あくまで東大法学部とパリ政治学院の一部分同士と比較にはなるが、交換留学をして獲得した知的資本ストックや海外での生活体験にけるコストを勘案した際に、果たして交換留学が合理的判断と言えるのかどうかはかなり難しい問題ではないかと感じた。本学においても専門性が高く、学生が深くコミットしていくような授業は存在するし、海外体験に関して近年の本学の国際交流プログラムは充実し、学外における機会も増えているだろう。留学の意義をどのように捉えるかは人によって大きく異なるだろうから一概に交換留学という枠組みが無為であると断じるつもりはないが、東大での時間や多額の費用を犠牲にしてまで行くべきものであるかどうかは再考の余地があると考えている。

②留学後の予定

2018年4月より会社員として社会人生活を始める予定。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

留学に行くことが自己目的化しているようであれば改めてその意義を問い直すべきではないか。なんのために留学に行き、そのためにどれだけの犠牲を払えるのかということを留学に申請する前に考え直して欲しいと思う(従って損得勘定をすれば無為であっても無為な時間を過ごそうと決意することもあるだろう)。留学そのものが意義あるものになるかどうかは自分次第であるが、意義があることとコストパフォーマンスが良いことは同じではない。一方で判断基準としてコストパフォーマンスという現金な観点を持ち込まない人間が多いことも承知しているのであくまで個人的な問題提起であるということは明らかにしておきたい。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2018 年 11 月 1 日

東京大学での所属学部・研究科等:	教養学部	学年(プログラム開始時):	学部4
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	パリ政治学院
卒業・修了後の就職(希望)先:			
<input checked="" type="checkbox"/>	1. 研究職	<input type="checkbox"/>	2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
<input type="checkbox"/>	3. 公務員	<input type="checkbox"/>	4. 非営利団体
<input checked="" type="checkbox"/>	5. 民間企業(業界:)	<input type="checkbox"/>	6. 起業
<input type="checkbox"/>	7. その他()		

派遣先大学の概要

フランスのグランゼコール。社会科学に特化し官僚を多数輩出している。もちろんそのような科目一辺倒ではなく、きちんと人文系の科目も履修できる。

留学した動機

提携校のなかで唯一パリにあり、そこで学びたいという憧れが強かった。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2017年	学部4	年生の	S2	学期まで履修	
②留学中の学籍:						
③留学期間等:	2017年	8月~	2018年	5月		
	学部4	年時に出発				
④留学後の授業履修:	2018年	学部4	年生の	A1	学期から履修開始	
⑤就職活動の時期:	年	修士2	年生の		月頃に	行う予定
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位			80	単位	
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位				単位	
	留学後の取得(予定)単位			57	単位	
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2014年	4月入学	2019年	3	月卒業/修了	
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	5年		ヶ月間			
⑨留学時期を決めた理由:						

学部を卒業する前に考える時間がほしかったので。

留学の準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

メールをこまめに送る。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

大使館も慣れているので問題なく発行してくれる。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

歯医者に行った。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

向こうの大学でも入らされる。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

留学届提出。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

向こうの大学の要件を満たしておく。

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

日用品は日本製が断然優れているので持っていくとよい。

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
芸術の権力、芸術と権力	10		戦争 視覚的歴史	10	
倫理学入門	5	●	歴史のなかのイメージ	5	●
記憶と忘却	5		ジェノサイドに対する応答の歴史と政治	5	●
古代ギリシアの文化人類学	5		美術館における歴史	5	
フランス知識人のサーガ	5		アート対デザイン	5	

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

授業の一環でアウシュヴィッツに行かせてもらったことが印象深い。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

一学期最大で6コマまでしか履修できない。

④学習・研究面でのアドバイス

思い切り外国語文献を読む。

⑤語学面での苦勞・アドバイス等

向こうの友人と異文化交流するだけが語学を学ぶことではない。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

知り合いが所有しているアパートマンの一室に住まわせていただいた。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

冬はほんとうに夜が長いので苦しい。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

意外と治安はよかった。病気にならないようにだけ気をつけた。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

食費はかなり抑えた。書籍を多く購入していた。

・留学に要した費用総額とその内訳

家賃諸々で一年住むと100万。その他で70万くらい。

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

JASSO 月10万円

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

映画をよく観ていた。旅行もよい思い出になった。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

親身にはなってくれないけれど、システム面では問題なかった。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

パリ政治学院はとにかく狭いので満足に使えない。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- | | |
|--|--------------------------|
| | 1. 研究職 |
| | 2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) |
| | 3. 公的機関(機関名:) |
| | 4. 非営利団体(団体名又は分野:) |
| | 5. 民間企業(企業名又は業界:) |
| | 6. 起業(分野:) |
| | 7. その他() |

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

外国語を読む敷居が下がり、研究をおこなうモチベーションが向上した。

②留学後の予定

大学院進学

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

日本のよさ、家族のありがたさが身に染みます。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

フランスであれば、日仏会館のイベントやホームページなど。

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。